



なぜ、いま腎臓内科なのか

- 全身を診る **総合力** ✕ 腎臓に極める **専門性**
- 内科で、**病理**も、**手技**も、**集中治療**も、**透析**も、**移植**も
- **新薬**と**AI**で腎臓診療は次の時代へ
- **世界**とつながる**研究**
- 結婚・出産・子育てなど**ライフプラン**を守る**キャリア**
- 大学・市中・海外 --- **多様な未来**を選べる

京大腎臓内科の特徴

1. 圧倒的な入院症例数

2024年入院患者	計 523 例
腎生検	71
シャント手術	44
CKD教育入院 (うち腎移植後)	98 / 20
血液透析導入	42
腹膜透析導入	5

CommonからRare Diseaseまで 多様な腎生検症例

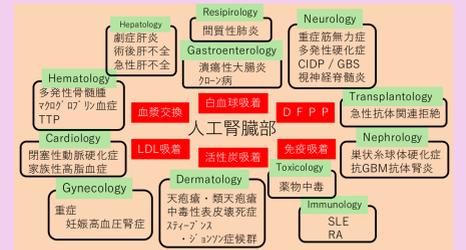
IgA腎症	17
腎硬化症	2
尿細管間質性腎炎	8
微小血管血栓症	2
微小変化型	4
膜性増殖性糸球体腎炎	6
膜性腎症	7
巣状分節性糸球体硬化症	1
ループス腎炎	7
糖尿病性腎症	5
ANCA関連血管炎	4
抗GBM抗体型腎炎	1
その他/分類不明	9

上記に加え、移植腎生検91例にも関与

2. 透析だけじゃない人工腎臓部 (透析室) の役割

2025年	
血液透析導入	54
腹膜透析導入	6
腹膜透析患者	26
併用療法	1
血液透析(HD, HDF)	2624
血漿交換	346
CHDF	782
GCAP	19
エンドトキシン吸着	0
末梢血幹細胞採取	68
ケアユニットの血液浄化	1091

特殊血液浄化で全身疾患を支える腎臓内科



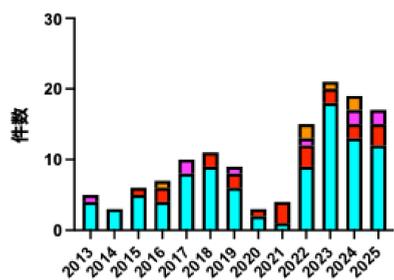
3. 手術もカテーテル治療もする内科医

- 透析用カテーテル (一時・恒久) 留置
- 内シャント手術
- シャントPTA

専攻医のうちからこれら手技を経験できる



4. 増加する腎移植件数



集中治療で命を支える腎臓内科



- **泌尿器科と密に連携**する腎移植医療
- 腎移植レシピエントの**CKD教育**を担う
- 肝腎・膵腎など**多臓器移植**も経験

5. 専攻医のうちに学会発表・論文執筆の経験を積める



米国腎臓学会 (Houston, USA; 2025/11/6-9) では当科専攻医の演題多数

- ・日本腎臓学会
 - ・日本透析医学会
 - ・日本アフエレーシス学会
 - ・日本臨床腎移植学会
- など国内学会での**豊富な発表機会**

学会発表後、演題は**論文化**する**指導体制**

7. 多様なキャリアパス

臨床・研究・海外へ広がる多様なキャリアパス



卒業後7年目には**専門医**が取得可能

希望を最優先した人事・魅力的な関連病院

- | | |
|----------------|----------|
| 北野病院 | 京都市立病院 |
| 神戸市立医療センター | 滋賀県立総合病院 |
| 兵庫県立尼崎総合医療センター | 和歌山赤十字病院 |
| 大阪赤十字病院 | 静岡県立総合病院 |
| 関西電力病院 | 聖路加国際病院 |
| 京都医療センター | 虎ノ門病院 |

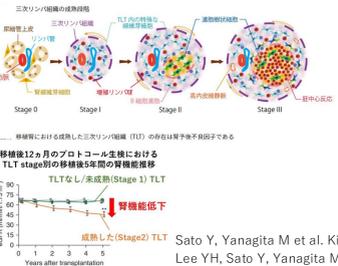
連携先として当科の関連病院ならどこでも、**希望の病院**に行ってください

ライフプランを守る**キャリア支援医**制度

京大病院には、**「キャリア支援医」**制度あり
子育てをしながら、外来・透析・専門医取得・研究など、**医師のキャリア形成を継続**する道があります

6. 新時代を切り拓く**最先端**の治療や研究

世界をリードする基礎研究



Onco-Nephrology

(がん診療と腎臓内科との新しい診療領域)

- ・M蛋白関連腎障害
- ・抗がん薬による腎障害の腎病理
- ・AIを用いたがんAKI予測
- ・透析がん患者の治療
- ・透析患者への抗がん剤投与

- 第68回 日本腎臓学会学術総会 YIA (Young Investigator Award) (2025年6月20日~22日)
 - ・Female sex hormones inversely regulate acute kidney disease susceptibility throughout life (北井 悠一郎)
 - 第60回 日本臨床分子医学会学術集会 学術奨励賞(YIA) (2025年4月19日)
 - ・生体内ATPイメージングを用いた虚血性急性腎障害に伴う糸球体障害の病態解明 (高橋 昌宏)
- ほか、受賞演題多数